

平成26年度 西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成26年12月3日(水) 13:30~16:45
2. 場所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室
3. 出席者 [委員] 帯野委員、斎藤委員、田辺委員、戸田委員、中瀬委員
植松特別委員、中野特別委員
[弊社] 石塚社長、酒井専務、奥平常務、高倉常務、芝村常務 他
4. 議 事

下記の区間に関する再評価、事後評価について審議

《再評価5区間》

- ・四国横断自動車道(徳島東~徳島JCT)
- ・東九州自動車道(椎田南~宇佐)
- ・近畿自動車道名古屋神戸線
(大津JCT~城陽、城陽~高槻第一JCT、高槻第一JCT~神戸JCT)

《事後評価2区間》

- ・西九州自動車道(佐世保道路)(佐世保中央~佐世保大塔)
- ・山陰自動車道(宍道JCT~出雲)

<四国横断自動車道(徳島東~徳島JCT)の再評価について>

➤ 主な意見

- ・当該区間の整備により、徳島市街地の一般道の交通量が縮減されるなど、大きな外部経済効果が期待できる。
- ・高速道路は災害に強く、また避難ルートとしても信頼性が高いことから、高速道路に併設した津波避難場所を自治体と連携して設置することは、地域の防災機能を高める良い取り組みであり、今後も積極的に取り組んでいただきたい。

➤ 結果

- ・対応方針(原案)については了承する。

<東九州自動車道(椎田南~宇佐)の再評価について>

➤ 主な意見

- ・九州の西側には九州自動車道や新幹線がすでに整備されているが、東側は東九州自動車道もまだ整備されておらず西側と東側との格差が大きい。東九州自動車道の早期整備は、東西の格差是正のみならず九州の経済発展にとっても非常に重要である。
- ・一部用地取得の遅れにより、椎田南~豊前間の供用が会社の目標である平成26年度内から平成28年春へと遅れることの社会的損失は大きく、出来る限り早期に整備されることを期待する。

- ・希少野生生物の保全や地域性苗木の植栽などは、生物多様性の保全に向けた非常に良い取り組みである。

➤ 結果

- ・対応方針（原案）については了承する。

＜近畿自動車道名古屋神戸線（大津 JCT～城陽、城陽～高槻第一 JCT、高槻第一 JCT～神戸 JCT）の再評価について＞

➤ 主な意見

- ・新名神高速道路（近畿自動車道名古屋神戸線）は国土軸の一部として広域的な高速道路ネットワークを形成し、リダンダンシー機能の強化や多量の物流を担うなど、当該道路の整備の必要性は非常に高い。
- ・中国自動車道や名神高速道路では多くの渋滞が発生している状況にあるが、新名神高速道路の整備により、それらの渋滞が大きく緩和されることが期待される。
- ・関西文化学研都市での研究材料を SPring-8 に運んで分析するなど、科学技術分野の発展のためにも新名神高速道路の早期整備が必要である。

➤ 結果

- ・対応方針（原案）については了承する。

＜西九州自動車道（佐世保道路）（佐世保中央～佐世保大塔）の事後評価について＞

➤ 主な意見

- ・西九州自動車道の一部区間である佐世保道路は、佐世保市内の「市民の道路」としての利用も多く、当該地域経済に欠かせない道路である。
- ・西九州自動車道の沿線には多くの観光地があり、観光地が活性化することによりさらなる利用の増加が見込まれる。

➤ 結果

- ・対応方針（案）については了承する。

＜山陰自動車道（宍道 JCT～出雲）の事後評価について＞

➤ 主な意見

- ・当該区間の開通により、企業立地の促進や観光地へのアクセス向上及び一般道の混雑緩和など地域の活性化に貢献している。
- ・山陰自動車道は、当該区間の前後や接続する松江自動車道も含め、有料区間と無料区間が混在しており利用交通量に差が表れている。現在、出雲 IC 以西の延伸事業も進められているところであり、今後の交通状況を見ながら更なる利用促進等にも取り組んでいただきたい。

➤ 結果

- ・対応方針（案）については了承する。

＜高速道路に関するその他の意見＞

- ・今後、高齢の運転手が益々増加することから、ジャンクションの分岐点における案内方法や情報板のわかりやすさなど、より一層、高齢者に配慮した取り組みをお願いしたい。